



※学校だよりのタイトル『羽ばたく』は、甲府市出身の宮沢和史さんに作詞作曲していただいた、舞鶴小学校の校歌の歌詞の一節です。「ふるさとを愛し、羽ばたく子に」になって欲しいとの願いをこめてタイトルとしました。

子ども達の「伸びる力」を信じて

校長室の窓際に、ピンクの葉がついたプリンセチアと深紅の花をつけたシクラメンがあります。枯れてしまいそうだったのですが、昨年度から水やりや肥料を与えていたらこの時期に色づきました。丁寧に手間暇をかけることが大切なのは、植物も子ども達も同じだと感じます。それにしても、日照時間等を変えなくても本来植物は「伸びる時期になれば自然に伸びる」のであって、冬の代名詞は「人間の都合」なのだと感じつつ、「相田みつを」の詩「トマトとメロン」を思い出しました。昨年度はコロナ禍のため実施できなかった活動がありましたが、コロナ対策を担保にする中で、可能な限りの教育活動を再開させようと試みています。与えられた条件の中であっても、「伸びよう、伸びよう」と子ども達は、日々の学習や活動に取り組んでいます。



交通教室

天気が心配されましたが、曇り空というベストコンディションの中、1年生と3年生は「交通教室」を実施しました。どの学年も、まず体育館横のピロティで説明を受けた後、校庭に描かれた道路と信号機を使って正しい横断歩道の渡り方や自転車の乗り方について体験活動を行いました。

1年生は、「右を見て、左を見て、また右を見る。ハンドサインを出して車が止まってから渡り、渡った後はドライバーにお礼を言う。」3年生は、「正面の信号に従い、ゆっくりと交差点を曲がる。踏切などは一時停止する。」など、具体的な指導を受けました。

3年生は、今回の「交通教室」を終え、学区内で自転車に乗ることができるようになりますが、本校は、広い学区の上に交通量も多く、交通事故が懸念されます。幸にも昨年度は大きな事故はありませんでしたが、ご家庭でも子ども達が自転車に乗る場合は、「飛び出しは絶対にしない」など、命を守るために、しっかりと交通ルールを守ることの大切さをご指導ください。また、前号でお伝えしたとおり、保険への加入を忘れずお願いします。



演劇教室

昨年度は、コロナウイルス感染防止の観点から実施できなかった演劇教室ですが、三密を避けるため、卒業式や入学式と同様に間隔を空けてパイプイスを設置し、2学年ずつの低・中・高の3部制で、カーテンをしても換気用に窓とドアを開けて実施しました。手塚治虫が原作で「雨降り小僧」というタイトルでの演劇でしたが、低学年から高学年まで、楽しみながら観るなかで、「人間の生き方、純真さ、信頼、自然への畏敬」等々、子ども達の心に様々な「種」を残してくれたと思います。「民話芸術座」の皆さんのご理解とご努力に感謝します。ありがとうございました。



楽しかった「林間学校」

5月21日(金)からの二日間、5年生は八ヶ岳少年自然の家に宿泊し、「林間学校」を実施してきました。出発時には小降りだった雨も、清里に着いたときは周囲が霞んで見えるほどの大雨でした。飯盒炊さんは、なかなか火が起きず大変だったようですが、苦勞して作ったカレーの味は今までで最高だったようです。自然の家では、洗面所にパーテーションを設けるなどコロナ対策をしっかり行っていました。翌日は、良い天気の中、牧場で体験活動をして帰校しました。「家族・自然・友達」など、林間学校での「学び」をこれからの生活に生かして、「生きる力」を育てていって欲しいと思います。



ありがとう「おまわりさん」

本校の子ども達が事故や事件に巻き込まれないよう、「甲府駅前交番」のお巡りさんが、日々登校指導やパトロールカーでの巡回指導を行ってくださっています。爽やかな笑顔で「可能な限り来ますよ」と言ってくださり、心から「ありがとうございます」と答えました。舞鶴小学校は、地域の方が見守りをしている。警察の方が巡回している。という姿が、安全の確保と防犯の抑止力になっていると思います。「ありがとうございます。駅前交番のおまわりさん。子ども達をお願いします。」と感謝の気持ちが溢れました。



体力テスト実施

昨年度実施できなかったことの1つに「体力テスト」があります。この日は、ボール投げや50m走を行いました。全力で体を動かす機会が減ってきていますが、子ども達の健康や体力の把握は、教育活動を営む上でとても大切な要素です。特にボール投げのように「ものを投げる」経験は、意図的に設定する必要があります。キャッチボールではなくても、ご家庭でも意識的にものを投げる感覚がつくよう取り組んでみてください。また、シャトルランは、体に負担をかけるためマスクを外して実施しました。もちろんコロナ禍の中に安全を確保するため、窓を全開にするとともに、コースの間隔をあけて、可能な限りの支援体制を取りながらの実施でした。



全国学力学習状況調査

6年生は半日かけて全国学力学習状況調査を実施しました。問題は、これまで学習してきた内容でしたが、例えば「1あたりの単位量の求め方を0.1あたりに換算して、10倍する」など、数や量に対する物の見方を問う問題もありました。これからの子ども達には柔軟な考え方が求められていますので、引き続き学校でも指導していきたいと思えます。



校外学習「3年生」

3年生は、長い距離でしたが歩いて「県立美術館」にいきました。常設展だけでなくテオ・ヤンセンが制作した、風を使い、空気力で動く現代アート「ストランドビースト」等を観ました。

そして、デッサンのポイントを指導員から受けた後、風景画に取り組みました。あいにく降雨により芸術の森でお弁当を食べることはできませんでしたが、早めに帰校し、ゆったりと過ごすことができました。



保護者、地域の皆様に支えられ

先日、穴切愛育会の会長さんから嬉しいお話をうかがうことができました。本校の卒業生が中学校に向かう途中、見守りをしていた地域の方に「6年間、私たちの安全指導をしていただき、ありがとうございました。」とお礼を言ったそうです。また、1年生が別の場面で「これから6年間、見守りをお願いします。」とやはり地域の方に深々と頭を下げたそうです。愛育会の皆さんは、目頭が熱くなったと話してくださいました。様々な場面で、子ども達は地域の方に支えられています。また、そんな子ども達の「思い遣る心」の発露を誇らしく思います。折しも、穴切愛育会の皆様よりかわいいペン立てを寄贈していただきました。低学年の子ども達に渡しましたが、地域の皆さんを身近に感じると嬉しいと思います。

また、保護者の皆様は、日頃からお子さんとともに健康管理に留意されていますので、今年度は佐藤新会長さんのもと保護者による朝の読み聞かせをスタートしました。もちろん三密を避けながらの実施となりますので、これまでのように車座になったの読み聞かせはできません。そのため、教材提示装置をつかって拡大し、自席で聞くこととしました。読み聞かせは本の内容も大切ですが、誰に読んでもらうのか、も大切な要因となります。読み聞かせを通して「心の栄養」が増えることを期待しています。

